

# 「和泉に生まれ育ったことを誇りに思う教育」の推進

## 大野市和泉小・中学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

| 項目            | 回数           |
|---------------|--------------|
| 地域・学校協議会      | 4回           |
| 中学校区を単位とした協議会 | 4回           |
| 地域及び家庭への学校公開  | 13回 (のべ) 13日 |

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 講師・ゲストティーチャー      | 18人 |
| 授業ボランティア (含: 低ボラ) | 0人  |
| 登下校支援ボランティア       | 6人  |
| その他 ( )           |     |
|                   | 人   |

#### (3) 特色ある活動

|             |
|-------------|
| テーマ「ふるさと教育」 |
|-------------|

#### < 具体的活動内容 >

和泉小学校では、毎年、5・6年生が篠笛の練習とその発表を「紅葉まつり」で行ったり、「穴馬和紙での卒業証書作り」を行ったりしてきた。

今年度からは、全校児童が「ふるさと学習」の取り組みの一つとして、地域の方を講師として和泉地区に伝わる「昇竜太鼓」を教わった。

昔は盛んだった「昇竜太鼓」も、最近では練習や発表会などが行われていなかった。

はじめは学校に太鼓もなかったが、小学校が「昇竜太鼓」を練習するというので、公民館の使われていない太鼓や村の神社に保管されていた太鼓などを貸していただき、太鼓を揃える事ができた。

また、法被なども以前活動していた地域の方々が、昔使われていたものを探し出して学校へ届けて下さったり、PTAで集めた空き缶を売った費用で、はちまきを購入したりした。

講師の先生には、2週間毎に、1回2時間教えていただいた。

児童達は、習っている期間、中休みや昼休みに、口でリズムを取りながら段ボール箱などをたたいたりしてリズムを覚えたので、みるみるうちに上達し上手だと褒められるようになった。

「和泉地区敬老会」で、児童が「昇竜太鼓」を発表したところ、地域のお年寄りの中には涙を流した方もおられ、大変喜んでもらえた。

また、「紅葉まつり」では、篠笛の発表とこの「昇竜太鼓」を発表したところ、まつりに来られた方から大きな拍手をたくさんいただくことができ、児童達の大きな自信になった。



#### 成果と課題

- ・児童が学校で「昇竜太鼓」を練習することで、「昇竜太鼓」継承の下地ができた。
- ・地域の方が喜んでくれただけでなく、地域の大人達の間でも「昇竜太鼓」復活の動きが出てきた。
- ・全校児童で練習する時間の確保が難しい。